



互換性

廃止されたプラットフォームの販売終了およびサポート終了の通知へのリンクを含む、サポート対象の Firepower のすべてのバージョンの詳細な互換性情報については、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』を参照してください。

この Firepower バージョンの互換性情報については、次を参照してください。

- [Firepower Management Center](#)について (1 ページ)
- [Firepower デバイス](#) (2 ページ)
- [マネージャとデバイスの互換性](#) (5 ページ)
- [Web ブラウザの互換性](#) (5 ページ)
- [画面解像度の要件](#) (7 ページ)
- [その他の互換性関連のリソース](#) (8 ページ)

Firepower Management Centerについて

Firepower Management Center (FMC) は、Firepower 展開の一元的な管理コンソールを提供するフォールトトレラントな専用ネットワークアプライアンスです。Firepower Management Center Virtual (FMCv) は、完全なファイアウォール管理機能を仮想化環境にもたらしめます。

Firepower Management Center

このリリースでは、次の FMC プラットフォームがサポートされています。

- FMC 1000、2500、4500
- FMC 2000、4000
- FMC 750、1500、3500

BIOS および RAID コントローラのファームウェアを最新の状態に保つことをお勧めします。詳細については、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』を参照してください。

Firepower Management Center Virtual

このリリースでは、次の FMCv の実装がサポートされています。

- Amazon Web Services (AWS) の FMCv
- カーネルベース仮想マシン (KVM) の FMCv
- VMware vSphere/VMware ESXi 5.5、6.0、または 6.5 の FMCv

サポートされている FMCv インスタンスについては、[Cisco Firepower Management Center Virtual 入門ガイド](#)を参照してください。

Firepower デバイス

Cisco Firepower デバイスは、ネットワークトラフィックをモニタし、定義された一連のセキュリティルールに基づいて特定のトラフィックを許可するかブロックするかを決定します。一部の Firepower デバイスは Firepower Threat Defense (FTD) ソフトウェアを実行します。また、一部の Firepower デバイスは NGIPS/ASA FirePOWER ソフトウェアを実行します。一部のデバイスはいずれかのソフトウェアを実行できますが、両方を同時に実行することはできません。

次の表に、このリリースでサポートされているデバイスプラットフォームと、（個別にアップグレード可能な）OS/ハイパーバイザ要件を示します。バンドルされたオペレーティングシステムのバージョンとビルドについては、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』の「Bundled Components」の情報を参照してください。



- (注) これらは、このリリースでサポートされているデバイスです。古いデバイスが EOL に達している、アップグレードできなくなった場合でも、数バージョンの範囲内であれば、より新しい FMC を使用してそのデバイスを管理できます。同様に、より新しいバージョンの ASDM では、より古いバージョンの ASA FirePOWER モジュールを管理できます。下位互換性を含む、サポート対象の管理方法については、「[マネージャとデバイスの互換性 \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

Firepower Threat Defense デバイス

これらの FTD デバイスは、このリリースでサポートされています。

表 1:バージョン 6.2.3 の FTD

FTD プラットフォーム	OS/ハイパーバイザ	詳細情報
Firepower 2110、2120、2130、2140	—	—

FTD プラットフォーム	OS/ハイパーバイザ	詳細情報
Firepower 4110、4120、4140、4150 Firepower 9300 : SM-24、SM-36、SM-44 モジュール	FXOS 2.3.1.73 以降のビルド。 (注) Firepower 6.2.3.16+ には FXOS 2.3.1.157+ が必要です。	最初に FXOS をアップグレードします。 問題を解決するには、FXOS を最新のビルドにアップグレードする必要がある場合があります。判断のヒントについては、『 Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Release Notes, 2.3(1) 』を参照してください。
ASA 5506-X、5506H-X、5506W-X ASA 5508-X、5516-X ASA 5512-X ASA 5515-X ASA 5525-X、5545-X、5555-X ISA 3000	—	FTD 展開では、これらのデバイスの OS を個別にアップグレードすることはありませんが、ISA 3000、ASA 5506-X、5508-X、および 5516-X に最新の ROMMON イメージがあることを確認する必要があります。 Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide
Firepower Threat Defense Virtual (FTDv)	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • AWS : Amazon Web Services • Azure : Microsoft Azure • KVM : カーネルベースの仮想マシン • VMware vSphere/VMware ESXi 5.5、6.0、または 6.5 	サポートされているインスタンスについては、該当する FTDv のスタートアップガイド を参照してください。

NGIPS/ASA FirePOWER デバイス

これらの NGIPS/ASA FirePOWER デバイスは、このリリースでサポートされています。

表 2:バージョン 6.2.3 の NGIPS/ASA FirePOWER

NGIPS プラットフォーム	OS/ハイパーバイザ	詳細情報
ASA 5506-X、5506H-X、5506W-X	ASA 9.6(x) ~ 9.9(x)	ASA と ASA FirePOWER のバージョンには幅広い互換性があります。ただし、厳密には ASA のアップグレードが必要でない場合でも、問題解決のために、サポートされた最新のバージョンへのアップグレードが必要になることがあります。操作の順序については、『 Cisco ASA Upgrade Guide 』を参照してください。 また、ISA 3000、ASA 5506-X、5508-X、および 5516-X に最新の ROMMON イメージがあることも確認してください。Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide
ASA 5508-X、5516-X	ASA 9.5(2) ~ 9.15(x)	
ASA 5512-X	ASA 9.5(2) ~ 9.9(x)	
ASA 5515-X	ASA 9.5(2) ~ 9.12(x)	
ASA 5525-X、5545-X、5555-X	ASA 9.5(2) ~ 9.14(x)	
ASA 5585-X-SSP-10、-20、-40、-60	ASA 9.5(2) ~ 9.12(x)	
NGIPSv	VMware vSphere/VMware ESXi 5.5、6.0、または 6.5	サポートされているインスタンスについては、『 Cisco Firepower NGIPSv Quick Start Guide for VMware 』を参照してください。
Firepower 7010、7020、7030、7050 Firepower 7110、7115、7120、7125 Firepower 8120、8130、8140 Firepower 8250、8260、8270、8290 Firepower 8350、8360、8370、8390 AMP 7150、8050、8150 AMP 8350、8360、8370、8390	—	—

マネージャとデバイスの互換性

Firepower Management Center

すべての Firepower デバイスは、複数のデバイスを管理できる Firepower Management Center (FMC) を使用したリモート管理をサポートします。新しい FMC は、いくつかのメジャーバージョンまでの古いデバイスを管理できます。ただし、FMC よりも新しいバージョンのデバイスをアップグレードすることはできません。つまり、FMC は管理対象デバイスと同じバージョンまたは新しいバージョンを実行する必要があります。

このリリースの場合：

- バージョン 6.2.3 の FMC は、バージョン 6.1.0 ～ 6.2.3 のデバイスを管理できます。
- バージョン 6.2.3 デバイスにはバージョン 6.2.3 FMC が必要です。

Firepower Device Manager

Firepower Device Manager (FDM) は、単一の FTD デバイスを管理できます。FDM では、小規模または中規模ネットワークで最も一般的に使用されるソフトウェアの基本機能を設定できます。FDM は FTD に組み込まれているため、このタイプの展開では、マネージャとデバイスの互換性という概念はありません。

Adaptive Security Device Manager

ASA with FirePOWER Services は、Firepower NGIPS ソフトウェアを個別のアプリケーションとして実行する ASA ファイアウォールです。Cisco Adaptive Security Device Manager (ASDM) を使用して両方のアプリケーションを管理できます。

ASA、ASDM、および ASA FirePOWER のバージョンには広範な互換性がありますが、ASDM の新しいバージョンでは、古い ASA デバイス上の ASA FirePOWER モジュールを管理できない場合があります。詳細については、[Cisco ASA の互換性](#)を参照してください。

このリリースの場合：

- バージョン 7.9.2 ASDM は、バージョン 6.2.3 以前の ASA FirePOWER モジュールを管理できます。
- バージョン 6.2.3 ASA FirePOWER module には、バージョン 7.9.2 ASDM が必要です。

Web ブラウザの互換性

Firepower Web インターフェイスでテストされたブラウザ

Firepower Web インターフェイスは、現在サポートされている MacOS および Microsoft Windows で動作する、次の一般的なブラウザの最新バージョンでテストされています。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Internet Explorer 10 および 11 (Windows のみ)

他のブラウザで問題が発生した場合、またはサポートが終了したオペレーティングシステムを実行している場合は、交換またはアップグレードしてください。問題が解消されない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。



(注) Apple Safari または Microsoft Edge を使用した Firepower バージョンの広範なテストを実施していません。ただし、Cisco TAC で発生した問題に関するフィードバックを求めています。

ブラウザの設定と拡張

ブラウザに関係なく、JavaScript、Cookie、および TLS v1.2 が有効なままになっていることを確認する必要があります。

Microsoft Internet Explorer 10 または 11 を使用している場合：

- [保存しているページの新しいバージョンの確認 (Check for newer versions of stored pages)] 閲覧履歴オプションについては、[自動 (Automatically)] を選択してください。
- [サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める (Include local directory path when uploading files to server)] カスタムセキュリティ設定を無効にします (Internet Explorer 11 のみ) 。
- Firepower Web インターフェイスの IP アドレス/URL の **互換表示** を有効にします。

一部のブラウザ拡張機能では、PKI オブジェクトの証明書やキーなどのフィールドに値を保存できないことに注意してください。これらの拡張機能には Grammarly や Whatfix Editor などがありますが、それに限りません。この問題は、これらの拡張機能によってフィールドに文字 (HTML など) が挿入され、システムが無効と見なすために発生します。Firepower アプリケーションにログインしている間は、これらの拡張機能を無効にすることをお勧めします。

セキュア通信

Firepower Web インターフェイスに初めてログインすると、システムは自己署名デジタル証明書を使用して Web 通信を保護します。ブラウザに信頼されていない機関に関する警告が表示されますが、信頼ストアに証明書を追加することもできます。これにより Firepower Web インターフェイスを継続できるようになりますが、自己署名証明書を、世界的に知られている、または内部で信頼されている認証局 (CA) によって署名された証明書に置き換えることをお勧めします。

自己署名証明書の置き換えを開始する手順は、次のとおりです。

- FMC : [システム (System)] > [設定 (Configuration)] を選択し、[HTTPS 証明書 (HTTPS Certificates)] をクリックします。

- FDM : [デバイス (Device)]、[システム設定 (System Settings)]> [管理アクセス (Management Access)] リンク、[管理 Web サーバ (Management Web Server)] タブの順にクリックします。

手順について詳しくは、オンラインヘルプまたはご使用の Firepower 製品の設定ガイドを参照してください。



(注) 自己署名証明書を置き換えない場合は、次の手順を実行します。

- Google Chrome は、画像、CSS、JavaScript などの静的コンテンツをキャッシュしません。これにより、特に低帯域幅環境では、ページの読み込み時間が長くなります。
- Mozilla Firefox は、ブラウザの更新時に自己署名証明書を信頼しなくなる場合があります。この場合は Firefox を更新できますが、一部の設定が失われることに注意してください。Mozilla の [Firefox 更新サポートページ](#) を参照してください。

Firepower で監視されるネットワークからのブラウジング

多くのブラウザでは、デフォルトで Transport Layer Security (TLS) v1.3 が使用されています。暗号化されたトラフィックを処理するために SSL ポリシーを使用していて、モニタ対象ネットワーク内のユーザが TLS v1.3 を有効にしてブラウザを使用している場合、TLS v1.3 をサポートする Web サイトのロードに失敗します。回避策として、ClientHello ネゴシエーションから拡張機能 43 (TLS 1.3) を削除するように管理対象デバイスを設定します。バージョン 6.2.3.7+ では、新しい CLI コマンドを使用して、ダウングレードするタイミングを指定できます。「[新機能](#)」を参照してください。

詳細については、『[Failures loading websites using TLS 1.3 with SSL inspection enabled](#)』というタイトルのソフトウェアアドバイザリを参照してください。

画面解像度の要件

表 3: Firepower ユーザ インターフェイスの画面解像度の要件

インターフェイス	解像度
Firepower Management Center	1280 X 720
Firepower Device Manager	1024 X 768
を管理している ASDM ASA FirePOWER module	1024 X 768
Firepower Chassis Manager 向け Firepower 9300 シャーシ	1024 X 768

その他の互換性関連のリソース

次の表に、リリースノートとその他の互換性情報へのリンクを示します。ドキュメントの完全なロードマップについては、[ドキュメントロードマップ](#)を参照してください。

表 4: その他の互換性関連のリソース

説明	リソース
互換性ガイドには、バンドルコンポーネントや統合製品など、サポートされているハードウェアモデルとソフトウェアバージョンに関する詳細な互換性情報が記載されています。	Cisco Firepower Compatibility Guide Cisco ASA の互換性 Cisco Firepower 4100/9300 FXOS の互換性
リリースノートには、アップグレードの警告や動作の変更など、リリース固有の情報が記載されています。	Cisco Firepower リリース ノート Cisco ASA リリースノート Cisco Firepower 4100/9300 FXOS リリースノート
持続性に関する速報には、管理プラットフォームやオペレーティングシステムなど、シスコ次世代ファイアウォール製品ラインに関するサポートタイムラインが記載されています。	Cisco NGFW 製品ラインのソフトウェアリリースおよび持続性に関する速報